

おおだて 

令和6年11月1日 154号

# 市議会だより



市役所駐車場工事(中央：10月9日撮影)と  
総務財政常任委員会現地視察の様子(左下：9月20日撮影)

新議員の紹介・議案等の審議結果 .....	▶	2
決算特別委員会 .....	▶	5
一般質問 .....	▶	6
常任委員会から .....	▶	12
私もひ・と・こ・と .....	▶	14

令和6年9月1日に大館市議会議員補欠選挙が行われ、

## 新たに2名の議員が加わりました

さとう かずゆき 議員(33)  
佐藤 和幸

いとう れい 議員(29)  
伊藤 励



- ・所属委員会  
総務財政常任委員会
- ・所属会派  
真政会

- ・所属委員会  
教育産業常任委員会
- ・所属会派  
市民の風

## 9月定例会の議案等の審議結果

令和6年9月定例会は、9月9日から10月8日までの30日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告4件、専決処分の承認3件、条例案3件、単行案6件、補正予算案11件、決算の認定19件の合計46件でした。ここでは審議の結果の主なものについてお知らせします。

### 専決処分の承認

承認

- 認 第7号 専決処分の承認について（令和6年度大館市一般会計補正予算(第2号)）
- 認 第8号 専決処分の承認について（令和6年度大館市一般会計補正予算(第3号)）
- 認 第9号 専決処分の承認について（令和6年度大館市一般会計補正予算(第4号)）

### 条例案

原案  
可決

- 議案第140号 大館市し尿及び浄化槽汚泥の搬入及び処理に関する条例案
- 議案第141号 大館市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
- 議案第142号 大館市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

### 専決処分？



本来議会で決定する案件を、緊急の場合などに市長が議会に代わり決定することを言います。専決処分をした場合は、その後開かれる最初の会議で報告され、議会でその内容を判断することになります。

## 単行案

原案  
可決

- 議案第143号 財産の取得について（除雪グレーダ（4.0m級）1台）
- 議案第144号 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
- 議案第155号 財産の取得について（追認）（教師用教科書等）
- 議案第156号 財産の取得について（追認）（小学校教師用教科書等）

## 補正予算案

原案  
可決

- 議案第145号 令和6年度大館市一般会計補正予算（第5号）案
- 議案第146号 令和6年度大館市介護保険特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第147号 令和6年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第148号 令和6年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第149号 令和6年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案
- 議案第150号 令和6年度大館市温泉開発特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第151号 令和6年度大館市水道事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第152号 令和6年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第153号 令和6年度大館市下水道事業会計補正予算（第2号）案
- 議案第154号 令和6年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案
- 議案第157号 令和6年度大館市一般会計補正予算（第6号）案

## 9月定例会に提出された請願・陳情

- 請願第5号 「健康保険証廃止の中止等を求める意見書」の請願 ⇒ **【不採択】**
- 請願第6号 秋田犬会館のトイレ改修工事への助成について ⇒ **【継続審査】**
- 陳情第19号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について ⇒ **【趣旨採択】**



## 継続審査となっていた請願・陳情

請願第 4 号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願

⇒ **【採択】**

陳情第 4 号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

陳情第 15 号 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情

⇒ **【趣旨採択】**

請願第 2 号 大規模災害による農地・農産物等の継続的補償制度を国に求める請願書

請願第 3 号 四十八滝温泉及び雪沢温泉郷の利活用を求める請願書

陳情第 3 号 学校給食費の無償化を求める陳情書

陳情第 6 号 日本犬・秋田犬の保存・振興に寄与する広報の一環の実施

陳情第 7 号 学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編成標準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについて

陳情第 13 号 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

陳情第 14 号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

陳情第 17 号 学校給食費の無償化を求める陳情書

陳情第 18 号 ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情

⇒ **【継続審査】**

請願？陳情？



どちらも市への意見や要望を伝えることを言い、誰でも請願・陳情を行うことができます。提出された請願・陳情書については議会で話し合われ、ふさわしい内容であれば採択され市長等へ送られます。なお、請願をするには議員の紹介が必要となり、文書で提出するように法律で決められています。

# 令和5年度決算特別委員会

特別委員会を設置し、令和5年度決算の審査を行いました。

## 1. 令和5年度一般・特別会計決算【審査日 9月30日～10月2日（3日間）】

### 令和5年度大館市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算



#### 一般・特別会計決算特別委員会の構成

◎…委員長 ○…副委員長

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ◎田村 儀光 (真政会)  | ○秋元 貞一 (令和会) |
| 吉田勇一郎 (令和会)   | 菅原 喜博 (令和会)  |
| 田中耕太郎 (令和会)   | 小畑 新一 (公明党)  |
| 今泉まき子 (日本共産党) | 佐藤 和幸 (真政会)  |
| 金谷 真弓 (真政会)   | 伊藤 励 (市民の風)  |
| 工藤 賢一 (市民の風)  | 花田 強 (市民の風)  |

## 2. 令和5年度企業会計決算【審査日 10月3日、4日（2日間）】

### 令和5年度大館市各企業会計の歳入歳出決算



#### 企業会計決算特別委員会の構成

◎…委員長 ○…副委員長

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ◎佐々木公司 (令和会) | ○明石 宏康 (真政会) |
| 花岡 有一 (令和会)  | 藤原 明 (令和会)   |
| 伊藤 毅 (令和会)   | 伊藤 深雪 (公明党)  |
| 柳館 晃 (真政会)   | 田村 秀雄 (真政会)  |
| 岩本 裕司 (市民の風) | 相馬エミ子 (市民の風) |
| 佐藤 芳忠 (市民の風) |              |



#### 決算特別委員会？



大館市の前年度の収入や支出の実績を決算と言います。  
決算特別委員会は、決算の計算が正しいか、市のお金が正しく使われているかなどを審査するために特別に設置される委員会です。決算審査には、今後の予算編成や市政運営をより良くしていくための重要な役割があります。

## 市長の政治姿勢について

やなぎだて  
こう  
柳館 晃 (真政会)



〈問〉 市長は大館には時間が無いと言いますが、なぜ大館だけ時間が無いのか。秋田県の他市町村や全国の市町村と比較しても、人口減少、少子高齢化、担い手不足等は本市に限らず深刻な問題である。本市だけの問題ではない。

〔市長〕 国全体の人口減少が進む中で、本市を含め多くの地方自治体で少子高齢化が加速度的に進行しており、これに伴う課題の一つとして、マンパワー不足による介護や医療の担い手不足や商工業など幅広い分野においても働き手が不足している現状に、大館には時間がないと申し上げた。本来国が責任を持って取り組む課題であり、本市においても人口を増やすことは容易ではないが、少子化対策を着実に進める。

〈問〉 担い手をどのような手段で、いつまでにどれくらい集める目標かをはじめ、市長が掲げた定住人口の確保、若者流出対策、人手不足対策、少子化対策、高齢化対策、新しい財源の確保等の柱、その他を具現化するため、なるべく早期に具体的な数値目標を定めるべきではないか。

〔市長〕 農林商工業から医療福祉分野に至るさまざまな業種における担い手不足という問題に対し、地元企業と連携を図るとともに、圏域外からの人材確保に向けた実効性のある施策を打ち出し、課題解決に向け取り組む。また、本市の最上位計画であるおおだて未来づくりプランに搭載している数値目標について、個別の事業の詳細を確認した上で、新たに取り組むべき施策を考え、目標を設定する。

〈問〉 選挙戦で県下第2の都市を取り戻すとあるが、それは人口なのか、生産性の向上なのか、所得水準なのか。生産性や所得水準であるなら2番どころか、1番を目指すのが当然と思うが市長の考えは。

〔市長〕 その通りである。

大館市議会

検索

クリック

## 一般質問

## 新市長として大館の未来性について

ささき  
こうじ  
佐々木 公 (令和会)



〈問〉 新市長として、石田丸の船長としてしっかり方向性を定め、かじ取りに汗をかいてほしい。五つの柱の中で最も重点を置くのは何か。

〔市長〕 大館の未来を考える上で、最優先課題である少子高齢化の克服に向けて取り組むべき五つの柱を掲げた。一つ目は「定住人口の確保と若者流出対策」、二つ目は「人手不足対策」、三つ目は「少子化対策」、四つ目は「高齢化対策」、五つ目は「新しい財源の確保」、これら五つの柱は、序列を付けずにそれぞれの対策に注力する。

〈問〉 令和6年度から9年度にかけてのおおだて未来づくりプランについて

〔市長〕 令和6年度から9年度にかけてのおおだて未来づくりプランにつ

この市長の見解は。

〔市長〕 令和6年4月に策定された本市の最上位計画であるこのプランは、社会情勢の変化に対応できる柔軟性を持った計画であり、現下のさまざまな課題に対する施策も盛り込まれている。私が選挙期間中に掲げた、子や孫世代と共に栄える大館の実現にむけて更に強化した部分や、アップデートが必要と考えられる部分については、議会にも相談の上検討していく。



## 集落支援員制度の早期導入について 希望出生率の大幅アップへの 道筋と実現性について

秋元 貞一（令和会）



〈問〉 地域課題の解決や町内会役員  
の負担軽減、各地区公民館事業が携  
わる地域イベントの活発化など、行  
政と地域の連携のため集落支援員制  
度を導入するべき。高齢化率と生活  
不便度の高い、面積の上では大館市  
の大部分を占める対象区域にとって  
は絶対にあつてほしい制度であると  
考える。住民が希望する地域に集落  
支援員を委嘱することで、さまざま  
な地域課題を行政と連携・共有し、  
解決方法を探ることが可能となり、  
地域を元気にする起爆剤となるもの  
と確信する。この制度の早期導入を  
検討し、各地域の市民の声を拾い上  
げることをお願いしたい。

〔市長〕 集落支援員制度は地域の実  
情に詳しい人材が、地域集落の維持  
と活性化に向けた活動を行うもので  
ある。地域おこし協力隊と異なる視

点に立った制度であるが、この二つ  
の制度には地域課題の解決や地域活  
性化という共通する目的がある。地  
域課題解決の方策の一つとして集落  
支援員制度の活用が考えられること  
から、各地域のニーズを把握するこ  
とにも、これまで先進的な取り組み  
を行ってきた地域や住民の意欲が高  
い地域について、モデル地域として  
導入できないか検討する。

〈問〉 超少子高齢化問題の解決策の  
一つとして、新市長が示した203  
0年希望出生率1・8に基づき、10  
年後に合計特殊出生率2・0以上を  
達成するための取り組みと、その道  
筋についての考えを伺う。

〔市長〕 所信表明でも申し上げた五  
つの柱に沿った政策を進め、子ども  
を産み、ここ大館で育てたいという  
意識を醸成していくとともに、産め  
ない事情がある方へのサポートを継  
続し、その環境づくりに取り組んで  
いく。併せて、本年策定したおおだ  
て未来づくりプランがより重層的な  
取り組みとなるよう、今後のまちづ  
くりの方向性を示していく。市民一  
人ひとりの思いに寄り添い、そして  
応える施策を展開していく。

一般質問の全文は、12月下旬に、市のホームページへ  
掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

## 財源確保について 人手不足の解消について

金谷 真弓（真政会）



るまち」「少子高齢化社会の慢性期  
医療や介護・福祉への挑戦」とある。  
さまざまな問題解決の一番の課題に  
人手不足の解消があるが、どのよう  
な対策をお考えか。

〈問〉 地方自治体に対する国からの  
交付金が決まっている中、ふるさと  
納税を今後どのようにして伸ばして  
いくのか。大館の天然資源、田代岳、  
比内地鶏、大館とんぶり等を生かし、  
財源確保に向け、どのような政策を  
お考えか。

〔市長〕 新たな財源確保は、本市の  
少子高齢化対策の大きな柱の一つ。  
ふるさと納税については、主要返礼  
品の米の出荷量増加に取り組み。大  
館市の食、天然記念物、伝統工芸品  
などの資源の価値を積極的に売り込  
んでいく。

〈問〉 市長の公約に「仕事の選択肢、  
職種を増やすための企業誘致」「し  
ごとコンビニで老若男女が活躍でき

〔市長〕 昨年度行った市の調査で、  
今後増加が見込まれる慢性期医療・  
介護の需要に対応する人材の不足が  
指摘されている。介護資格取得への  
助成、介護職の魅力発信などを実施  
し、医療、介護、日常生活支援を一  
体的・効率的に提供するため「分散  
型小さな拠点」の整備を目指す。業  
務の効率化のためには、DXやパワ  
ーアシストスーツの導入推進、ロボ  
ットの導入に向けた支援策を検討し  
ている。さらに、潜在的な労働力の  
掘り起こしや、育児や介護の合間に  
仕事ができるワークシェアリングの  
仕組みづくりを検討している。また、  
外国人労働者の活用も重要と捉え、  
外国人の住環境、地域の受け入れ体  
制を関係機関と連携して整えてい  
く。

## 政治姿勢や発言について

あかし 明石  
ひろやす 宏康（真政会）



〔問〕 刷新を前面に打ち出した市長にとつて、助け舟でもあり、時には壁のようにも立ちちはだかるのが前市長から引き継いだ事業の数々だ。市長の掲げる刷新と、これまで積み上げてきた現在の施策、この取捨選択は信任を得た市長の判断に委ねられているが、反面この判断が市民や議会からの最初の評価になる。

〔市長〕 これまで市が取り組んできたさまざまな施策は、私が考える本市の課題解決につながる取り組みも多く、それらについては継続しつつ、現状を鑑みて、アップデートが必要な部分については、議会に相談しながら進めていく。

〔問〕 市長を応援した人も、そうでない人も、選挙結果に真摯に向き合い、市長を懸命にサポートするため、答弁書を作ったり、上程する議案や施策を説明しているはずだ。そ

の方々や階下にいる多くの職員はどんな気持ちで、市長のいきなりの早期人事着手の談話を聞いたか。初登庁していきなりこれが。

〔市長〕 人事については、政策協業や通常業務を通じて、職員との意思疎通を図りながら、個々の適正を見極めていく。役職定年による管理職の異動が確実にあることから、人事担当部署と意見調整し、これまでのキャリアや人事評価制度の内容を踏まえ、来年4月の定期人事異動に反映させる。今後も職員がしっかりと活躍できる組織にしたいとの思いでの発言だった。

〔問〕 議会と連携しながら議案をつくる旨の話をしたようだが違和感がある。審査・審議・採決する立場の私たちが我田引水な議案を作りかねず、真意を問う。

〔市長〕 市民の皆様や議員の声をしっかりと聴き、議会との議論を通じてまちづくりの具体的な政策を作っていくと考えている。その思いは提出する議案についても同様であり、議会の意見を丁寧に向いながら整えてまいりたいとの考えによるものだ。

大館市議会

検索

クリック

## 一般質問

### 骨粗鬆症検診の導入を 軟骨伝導イヤホンの窓口導入を

いとう 伊藤  
みゆき 深雪（公明党）



〔問〕 大館市で今年度策定された「第3次健康おおだて21」では、特に女性に重点を置いたライフコースを踏まえた健康づくりが盛り込まれている。近年、女性の健康課題が取り上げられており、それは女性だけが妊娠する機能を持つこと、また生命体としての働きの多くをホルモンに支配されていることにより様々な支障や心身にわたる悩みを抱えているためである。女性の健康課題としては、生活習慣病、骨粗鬆症による転倒骨折、月経障害や更年期障害などで、転倒骨折は寝たきりや要介護の原因となり、不健康期間を延長させるため、その予防として骨粗鬆症検診の導入をするべき。

〔市長〕 「第3次健康おおだて21」では、女性の健康づくりを重点項目の一つとして位置付け、骨粗鬆症検診の実施を検討することを明記している。現在委託機関と協議しているところであり、令和7年度から実施

する方向で調整中である。併せて「骨の健康教室」を開催し、骨粗鬆症予防の普及啓発にも取り組んでいく。

〔問〕 軟骨伝導は第3の聴覚経路として平成16年に、奈良県立医科大学の学長によって発見。軟骨伝導イヤホンにより、これまでより円滑なコミュニケーションがとれる。窓口の設置で、大きな声で会話し、個人情報を周囲に漏らすリスクの軽減が図られ、市民サービスの向上にもつながると考える。また、認知症になる危険因子が難聴であると報告があり、認知症予防にもつながると考える。窓口で軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。

〔市長〕 軟骨伝導イヤホンは、従来のイヤホンや骨伝導イヤホンと異なり、耳の軟骨へ振動を与えることができ、音漏れの心配がないほか、衛生面でも優れている。また、身体への負担が少ない補聴器としても活用されていることから、他の自治体などでも窓口への導入が進みつつある。先導的共生社会ホストタウンである本市としても、今月から遠隔手話通訳システムを導入し、意思疎通の円滑化と環境整備に努めている。軟骨伝導イヤホンについても、聞こえづらさを抱える方へのサポートの一つとして速やかに試験導入し、その効果などを検証していく。

「対話の市政」を実現するためには、市政の見える化促進、対話環境の整備、法令遵守の姿勢が重要と考えるが、市長の考えは

工藤 賢一 (市民の風)



職員、特別職、議員を対象としたハラスメント防止条例を制定すべき

〔問〕 本年9月現在で、全国64の自治体でハラスメント防止条例が単独条例として制定されている。職員のみならず、特別職、議員も対象とした条例を制定すべきでは。

〔市長〕 「対話の市政」を実現するためには、組織内部においては、ライン型組織からボトムアップ型組織への変革を、市民に対しては、公式ラインの活用など若者世代への訴求力向上を目指した情報共有のための取り組みや対話環境の整備が重要と考える。また、「対話の市政」を制度上担保するためには、不正や不法行為を見逃さない環境醸成も必要であり、公益通報者保護法の運用も重要と考える。

〔市長〕 市政情報については、ホームページやインスタグラム、FMラジオおおだてなどを活用して発信しているほか、全国広報紙に掲載するマチイロというアプリに広報を掲載するなどして利便性の向上に努めている。また、公益通報者保護法の運用に関しては、本年3月より実施要項を策定し、対応している。

〔問〕 病院事業経営強化プランの進捗について、内部のみの評価ではなく、市民や有識者も交えた開かれた場にて評価を行うべき。

〔市長〕 本市では、大館市職員のハラスメント防止等に関する要綱を策定しており、常勤・非常勤を問わない全ての職員と特別職、議員も対象にするものと定めている。まずは、要綱の周知・見直しを図りながらハラスメントを生じさせない職場環境づくりを進めていきたい。

〔市長〕 本事業の進捗状況は病院管理会議で分析・評価を行いながら管理することとしており、その結果を注視していく。また、必要があれば、総務省の経営・財務マネジメント事業を活用し、専門家を招いて意見・助言を頂く方針である。

一般質問の全文は、12月下旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

市の情報発信と情報収集に  
市公式LINEの活用を  
屋内温水プール建設について

伊藤 励 (市民の風)



〔問〕 市の魅力や子育て支援情報が効果的に伝えるには、SNSの活用が不可欠である。私自身、上京後、地域情報が限られていた経験から、分かりやすい情報提供の重要性を実感した。特に子育て世代からは、大館の支援策が分かりにくいとの声もある。LINEを用いたアンケート機能を導入すれば、市民の意見を迅速に集め、市の魅力やイベント等、情報の共有が可能になる。情報収集手段を増やすことで、市民と行政のつながりを強化し、魅力的なまちづくりが実現できると信じている。市長の意見を伺う。

〔市長〕 市では、広報誌やSNSを通じて情報発信を行っているが、既存手法では市民の意見を拾い上げることが課題である。対話の重要性を認識し、市民の声をしっかり聴く姿勢が求められると感じている。総務省の報告書によると、スマートフォン

〔市長〕 今年6月、花岡総合スポーツ公園多目的プールで開催された中学生水泳大会に参加したお母さんから、観覧席がないため立見応援を強いられた現状が報告されている。また、猛暑日が増加する中、プールに行きたくても近隣市まで行かなければならないとの声も多い。市民プール解体後、屋内温水プール建設の必要性を願う声も多い。幅広い世代が利用できる健康増進型と競技型を併せ持つ屋内温水プールを建設すべきと考える。市長の意見を伺う。

〔市長〕 屋内温水プール建設については、過去に要望を受けて検討したが、整備費用や維持管理費の課題が多く、見送った経緯がある。現在は人口減少と建設費高騰により、市単独での整備は現実的ではなく、民間や近隣自治体の既存施設活用が最善である。花岡総合スポーツ公園多目的プールでは、大会開催に必要な改修を行っているが、観覧席設置の可能性を検討中である。

## 子宮頸がん予防ワクチンについて 花岡地区からPFASが検出されたことについて 大館市障害者計画・障害福祉計画について ほか

いまじよみ  
まきこ  
今泉 まき子 (日本共産党)



〔市長〕 令和元年度から3年度にかけて、長木川の河道掘削や樹木の伐採を実施している。引き続き各河川管理者との連携を密にしながら巡回、点検を継続し、意見交換会などの機会を捉えて要望していく。

〔問〕 花岡地区からPFASが高い値で検出された。市民生活に影響があるか検査する必要があるのでは。

〔市長〕 この物質の影響については専門家による検討が進められている段階。市では上水道で年1回の検査を実施。結果は1リットル当たり5ナノグラム以下。今後も検査を継続し、国・県の動向を注視していく。

〔問〕 障害者計画・障害福祉計画について。①障害者優先調達について。②就労に向けた通勤手段の確保について。③相談窓口の周知について。

〔市長〕 ①調達実績は令和4年度は28件で約45万円、5年度は24件で約85万円。今後も施設や事業所と連携し調達増に向け取り組んでいく。②法定雇用率の引き上げに伴い、自力での通勤困難な方をどのように就労につなげるかが課題。企業へも働きかけるとともに、国の政策を注視していく。③市では、属性や世代を問わない包括的な相談体制に取り組んでおり、引き続き周知に努める。

〔問〕 小学校の低学年用のプールの床面が傷み、足を傷つけている。補修を速やかに行うべきでないか。

〔市長〕 常に紫外線や風雨、塩素の影響で劣化が進行しやすい環境にある。低学年用のプールは、塗装の剥離がけがにつながるリスクが高いので、計画的に修繕を進めていく。

〔問〕 長木川に上流から流れてきた土砂が堆積してきている。計画的にしゅんせつして災害防止に努めるよう県に要望してもらいたい。

大館市議会

検索

クリック

## 一般質問

### 少子化への具体的な対策は

たむら  
ひでお  
田村 秀雄 (真政会)



〔問〕 少子化対策は難しい問題である。今後の具体的な対策をどのように考えているか。

〔市長〕 本市を含め、多くの自治体で少子高齢化が加速度的に進行しており、本市においても毎年約1000人の人口が減少している。このような状況に立ち向かうべく、五つの柱を所信表明で示している。一つ目は定住人口の確保と若者流出対策、二つ目は人手不足対策、三つ目は少子化対策、四つ目は高齢化対策、五つ目は新しい財源確保であるが、少子化対策では希望出生率1・8達成を目指し、子育て環境の整備、母親の働き方改革のほか、大館暮らしと結婚についてのイメージアップ、出会いの場づくりなど、さまざまな可能性を探り、地域や議会と一緒に政策を作っていく。

〔問〕 ふるさと納税の寄附額をどのように伸ばしていくのか。

〔市長〕 本市の寄附返礼品の主力は米であるが、比内地鶏や曲げわっぱをはじめとした工芸品など、魅力ある返礼品を数多く有しており、本市のふるさと納税額はまだまだ伸びしろがあると考えている。大館の持つ価値は豊富な地域資源であり、世界的知名度を誇る秋田犬をはじめとしたコンテンツのPRに一層力を入れ、大館のブランド力を高めることで、ふるさと納税の寄附拡大を図っていく。



## 定住人口確保・若者流出対策について

いしがき ひろたか  
石垣 博隆 (真政会)



大館市での人材確保への取り組みとは。

〔市長〕 生産性向上、人材育成、潜在労働者の掘り起こし、圏域外からの人材確保などの取り組みを複合的に行っていく。新たな取り組みとして、さまざまな事業を活用し関係団体と連携し、魅力発信、人材の掘り起こしを行っていく。また、子育てや介護等の合間で働くワークシェアリングの仕組みを検討する。

〔問〕 若者が働きたい職種、地元企業の第二創業や企業誘致への具体的な考えはあるか。

〔市長〕 本市では、条例に基づき多様な業種の誘致に努めている。中でもIT分野は若い世代の希望多い業種であり、情報サービス産業支援事業を展開し、これまで5社の拠点開設につながった。今年度からスタートアップ事業を創設、加えて県が運営する「AKIISTA」や東京都が運営する「NEXUS・Tokyo」など、さまざまな場を活用し取り組んでいる。事業継承や第二創業については、ビジネスモデル構築や販路開拓支援などを行っていく。企業版地域おこし協力隊の受け入れも進めたい。

## 人手不足解消について

〔問〕 日本の地方での課題であるが

〔市長〕 スマート農業導入を後押しし、省力化・生産性向上を進める。熟練技術をデジタル化し、新規就農者が即戦力として活躍できる環境づくりを進め、儲かる農業を推進する。

## 農業振興について

〔問〕 農業政策に関する考えは。

〔市長〕 安定的な生産・供給量確保に向けた環境整備や新しい返礼品開発、加えて積極的なPR活動や本市の資源を活用するための新たな受け皿となる組織などを精査し検討する。

## 新財源確保のための「ふるさと納税寄附額増加」について

〔問〕 競争が激化する中、大館を選んでもらえる秘策はあるか。返礼品不足への対策として、安定供給できる新たな形が必要では。

〔市長〕 安定的な生産・供給量確保に向けた環境整備や新しい返礼品開発、加えて積極的なPR活動や本市の資源を活用するための新たな受け皿となる組織などを精査し検討する。

一般質問の全文は、12月下旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

## 一般質問

## 選挙戦を問う

たむら のりみつ  
田村 儀光 (真政会)



を提出している。それ以外の経費については、政治活動に係るものであり、この場での答弁は差し控えさせていただきます。

〔問〕 リーフレットの真偽について答弁がなかったが。

〔市長〕 リーフレットの内容については、間違ったことは書いていない。

## おおだて未来づくりプランについて

〔問〕 おおだて未来づくりプランについての市長の考えは。所信表明で一言もふれていないことを残念に思う。前市長が3期目の集大成として作成した令和6年度から令和9年度までの大館市の最上位計画に一言でも触れてほしかったが。

〔市長〕 本プランは、社会情勢の変化に対応できる柔軟性を持った計画となっており、プランに搭載された施策については、有効な取り組みはこれを継続しつつ、さらに強化したい部分やアップデートが必要と考えられるものについては議会にご相談しながら進めたい。

〔問〕 市長選を振り返ると、多くの市民から残念の声があった。一つは投票率の低下、二つ目は政治と金である。金がないと政治家を目指せないのか。リーフレットの内容も、市民の心を揺さぶるよくなった内容だと思いが、うそはないのか。政治家はうそは絶対駄目だと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 投票率の低下については、さまざまな要因があると考えられる。政治に期待しない人たちが、相当数いるのではないかと私も懸念している。若い世代に政治や市の政策に関心を持ってもらうことが重要であると考えており、今後政治・政策に少しでも関心を持ってもらうよう取り組む。選挙期間中の経費については、選挙管理委員会へ収支報告書

## 9億5000万円の事業費を予定している 野遊びSDGs事業の今後の展開は 学校プールサイドの高温対策について

はなた  
花田 強 (市民の風)



ノーピーク社の撤退表明を受け、五色湖エリアの整備について現状の計画をそのまま遂行することは難しい状況にあると認識している。今後の事業の方向性については国や県と協議しながら活用の可能性を探る。

〔問〕 7月15日の新聞にSDGs事業の運営を担う予定であったスノーピークがこの事業から撤退するとの記事が掲載された。前市長が7月10日に山井社長と面談した内容では撤退の理由として「市議会の一部から執拗な反対がある」「歓迎ムードではない大館市にはリスクを感じる」と掲げている。撤退の理由が私ども市議や大館市民全てに非があるような言い分である。また、前市長の退任も一因に掲げられている。私はスノーピークの撤退はキャンプブームの衰退であるとともに①一部上場からの廃止で発行株を自社役員で内部留保したこと②2023年12月期の純利益が100万円であったこと③営業基盤を海外にシフトしたことが原因のような気がする。この問題について石田市長は見直しが必要としているが、どのように見直すのか。

〔市長〕 本事業の核となっていたス

# 常任委員会から

各常任委員会で行った議案審査の様子や、行政視察、報告事項の内容について、その一部をお知らせします。

## 教育産業常任委員会

大館市AIオンデマンド型相乗エアポートタクシー事業について

大館市内と大館能代空港間を運行しているリムジンバスは、鷹巣駅前などの県北北部の中心部を經由するため、大館駅前に到着するまで約60分かかっている。このリムジンバスを補完する新たな移動サービスとして、乗客のリクエストに応じ、AIがリアルタイムでルートを決定するAIデマンドタクシーの運行を計画している。実証運行を12月から、本運行を2月から予定しており、運行開始後、所要時間は30分程度となる見込みである。

不登校対策について

〔大阪府 池田市〕

池田市では、子どもたちの発達状態に合わせ、教育相談やスクリーニングによる学習支援、集団での生活支援を行うフリースクールを公設民営で運営している。不登校、いじめ、ひきこもり、病气、非行など、子どもたちの育ってきた環境はさまざまであったが、子どもたちにいるような世界や選択肢を見せ、体験を積み重ねられる環境を一人ひとりに合った形で提供していた。本市のふるさとキャリア教育に通じる考えであり大変参考になるものであった。

## 行政視察

○令和6年7月30日～8月1日  
京都みどりプロジェクトについて  
〔京都府 京都市〕

京都市では、林業従事者が大幅



# 常任委員会から

各常任委員会で行った議案審査の様子や、行政視察、報告事項の内容について、その一部をお知らせします。

## 総務財政常任委員会

### 財政健全化判断比率及び資金不足率について

令和5年度決算における財政健全化判断比率と公営企業の資金不足率について説明があった。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標は、いずれも財政健全化法の早期健全化基準をクリアしている。公営企業ごとの資金不足比率については病院事業で資金不足が生じたが、経営健全化基準内に収まっている。

### 本庁舎建設事業外構整備工事の進捗状況について

現在の進捗状況は8月末時点で32・5%で、バス待合所や駐輪場などの構造物の基礎工事が完了。工事は順調に進んでおり、今後は構造物の建築工事や舗装工事などを行い、令和7年3月末に完成予定である。

その他、大館圏域定住自立圏共生ビジョンの改定や、7月25日からの大雨等による被害状況の報告などがあった。



## 厚生常任委員会

### 公立保育施設適正配置計画について

児童数減少等へ対応するため、年度内の策定を予定している公立保育施設適正配置計画について進捗状況が報告された。へき地保育所5施設の地元代表者と保護者を対象に説明会を開催したところ、地域や子どもの年齢により温度差が見受けられ、保育所により今後の進み具合に差が出てくる可能性がある。担当の子ども課では、子育て支援サービスを提案するなど丁寧話し合いを重ねていきたいとし、多少計画が遅れても保護者と地元で納得してもらえよう柔軟に進めていく。



## 建設水道常任委員会

### 大館市自動車運転免許返納促進事業について

大館市自動車運転免許返納促進事業について当局から報告があった。交通事故の抑制と免許返納者の生活を支える公共交通の利用促進を目的とするもので、対象者は大館市得とく定期券の購入費用助成や、大館市免許返納タクシー利用助成券の交付を受けることができる。事業は令和6年10月から令和9年3月までの期間で実施される。

そのほか、路線バス運賃とmobi利用料金の改定について報告があった。



# 私もひ・と・こ・と 第55回

## きたばやしゆか 北林由香さん (早口)



### よそ者から大館人に

大館に嫁いできた29年前、福岡県出身の私には越えなければならぬいくつかの壁がありました。まず、言葉。初めて聞いたバリバリの方言が日本語には聞こえません。通訳(標準語に言い換えてもらう)無しではとても理解できませんでした。とても恐怖だったのが、電話です。勇気を出して受話器を取り、聞こえてきた声は、「めえ、だあだ？」です。えええ!!! パニックです。言われた言葉を頭の中で反すうし、ようやく「おまえはだれ

だ？」とおっしゃっているのだろうかという解釈し、「嫁です」と答えました。そのあとは覚えていません。今は随分耳が慣れてほとんど通訳なしです。

二つ目は、味です。一番衝撃だったのは醤油です。福岡は甘めの醤油でした。けれども、醤油の味は慣れなくてそれを補って余りあるおいしい食材が大館には豊富にありました。嫁ぎ先は兼業農家でしたので、おいしいお米とお姑さんが作る新鮮な野菜をたくさん食べさせてもらいました。私はあまり野菜が得意ではありませんでしたが、大館に来てから初めて野菜はおいしいということに気がきました。おいしさの秘密は、新鮮さ。きれいな空気とおいしい水。さらに、寒暖差のある気候。肥沃な土。厳しい自然環境もおいしさの秘密です。

ファミリーホームちゃあぶの施設長。  
ファミリーホームを始めて4年目です。趣味は読書。コンビニのスイーツをめぐるのが最近の楽しみです。

い、数も豊富、泉質も良い、言うことなしです。大館の宝です。

四つ目は、暗さです。夜の車の運転が嫌でした。暗くてよく見えないのはなぜかなと不思議だったのですが、街灯がとて少ないせいだと気付いたのです。夜は暗くて危ないのですが、その分星がよく見えます。満天の星空を見ると、自分がちっぽけに感じます。大館に来て29年。ずいぶん町の様子も変わりました。人口減少に歯止めをかけるべく行政もいろいろなことをされています。よそ者である私が大館に受け入れてもらい今も生活しています。大館のために自分に何ができるのかを考え、小さいことでもやっていたらいいなと思っています。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。また、表紙の写真についても募集しています。議会事務局までご連絡ください。

### 本会議はどなたでも傍聴できます

本会議傍聴の受け付けは、開会の15分前からです。  
市役所5階の傍聴席入り口で、受付簿に住所・氏名をご記入いただくことで、どなたでも傍聴できます。ぜひ、お越しください。



※座席数には限りがあります。  
また、傍聴席での発言や拍手、写真撮影等は禁止されていますのでご注意ください。

### 編集後記

市議会だよりを楽しみにされている市民の皆さま、お待たせしております。今回新しく議会報委員会のメンバーになりました。新市長になり、定例会もすぐ始まり、慌ただしく新体制の市政がスタートしました。市民の皆さまと一緒に方向を向き、より良い大館市のまちづくりを目指して、職員・議員も日々奮闘しております。

朝夕の気温差が激しく、体調管理が難しい季節になってまいりました。どうぞお体に気をつけてご自愛され、健康やかに過ごしてください。



(金谷 真弓 記)